

病害虫の
見分け方
シリーズ

イネウンカ類3種とその被害の見分け方

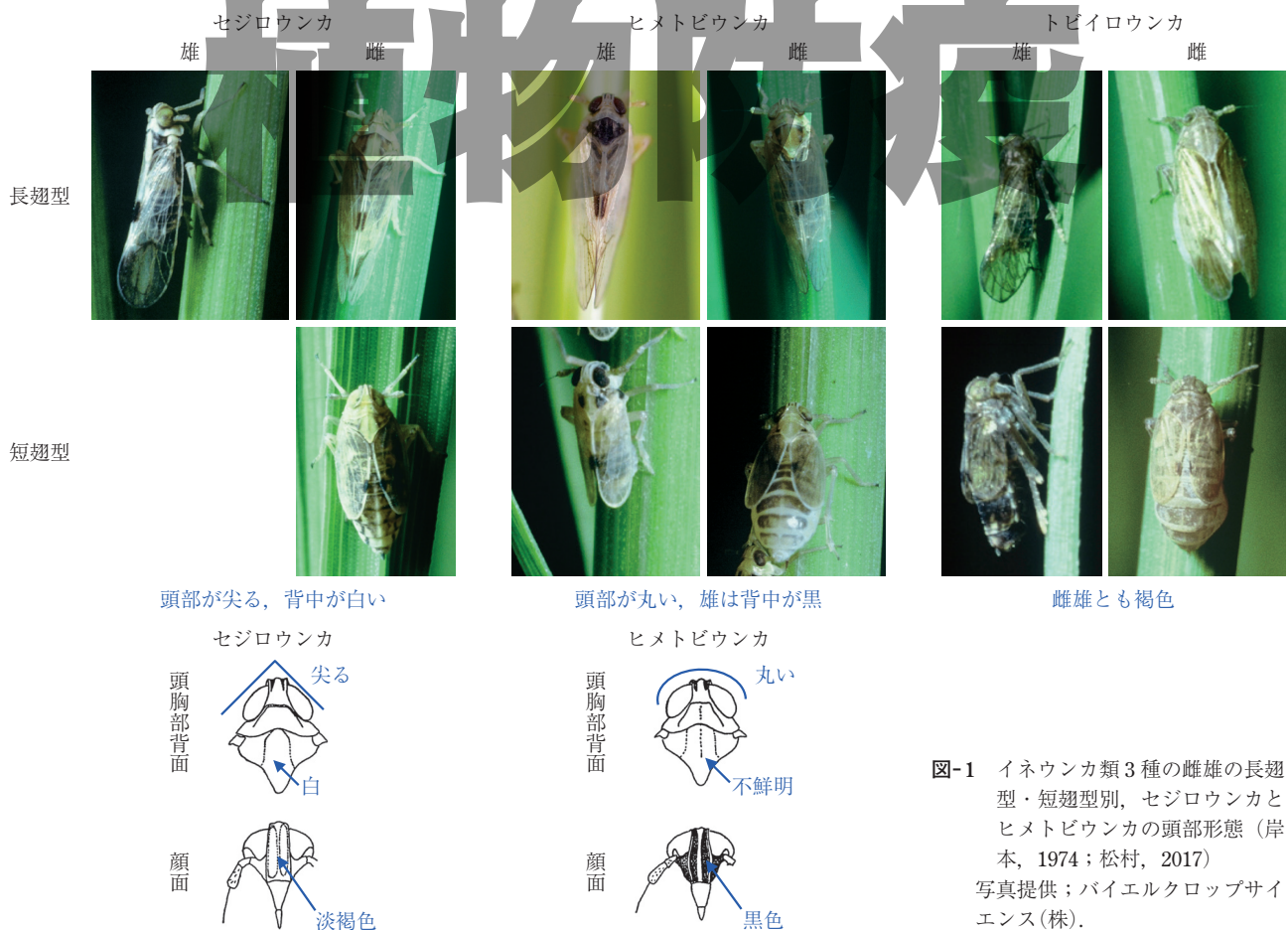
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 ^{まつ} ^{むら} ^{まさ} ^や
植物防疫研究部門 基盤防除技術研究領域 松 村 正 哉

はじめに

イネウンカ類3種：トビイロウンカ *Nilaparvata lugens*、セジロウンカ *Sogatella furcifera*、ヒメトビウンカ *Laodelphax striatellus* は、発生や被害の特徴はそれぞれ異なるものの、同所的に発生することが多く、発生予察や防除対策を講じるうえで、正確な種の識別が必須となっている。発生予察を担当する都道府県の病害虫防除所などの担当者や民間の指導員の間では、従来、熟練者から初心者へと、見分け方などの技術が伝承されてきた。しかし、要員数の減少や頻繁な異動による担当者の交代等で、技術の伝承がされにくくなっている。そこで、本解説では、イネウンカ類3種とその近縁種、および被害の見分け方について解説する。

I 成虫とその近縁種の見分け方

図-1 にイネウンカ類3種の成虫を雌雄の長翅型・短翅型別に、セジロウンカとヒメトビウンカについては頭部形態



Species Identification and Damage Characteristics of the Three Rice Planthoppers. By Masaya MATSUMURA
(キーワード: トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, 種の識別, 発生予察)